

牧之原版しあわせおみくじ



ができるまでと、これから



令和元年度の地域リーダー育成プロジェクトで宮崎産業経営大学の出山実先生と一緒に『牧之原版しあわせ指標』を考えるワークショップを3回に渡り開催しました。牧之原の幸せをカードゲームで見える化し、牧之原版しあわせ指標アンケートを作成。榛原高校と相良高校の皆さんに協力していただき実施しました。

高校生のみなさんはおおむねしあわせに感じているとともに、46問中21問は「どちらでもない」という回答が25%を占める結果となりました。この「どちらでもない」を越えた先に焦点をあて、しあわせを掴むためにできることを考えました。幸せは関係性の中にあること、幸せにはたくさんのかたちがあり、1つではないことを学びました。

みんなで対話する中で生まれたしあわせを掴むためのたくさんの術を、どうしたら普段の生活の中に取り入れてもらえるかを考え、グラフィックチーム（市民協働ファシリテーターグラフィッカー2名と榛原高校生グラフィッカー3名）でおみくじという形にしました。これからの生活のちょっとしたヒントに是非使って頂けたらと思います。今年度も地域リーダー育成プロジェクトは開催予定ですので、みなさん参加してくださいね。



※牧之原版しあわせ指標とは

経済の指標であるGDPではなく、世界一幸せな国として知られるブータンで発案された国民の幸福度を計る指標GNH（国民総幸福量 Gross National Happiness）を元に、牧之原に合わせたしあわせを話し合いました。

ブータンでは心の豊かさを示す幸福度こそが国の発展とよりよい社会とされています。

世界のあちこちで、GNHにならった幸福度指標を作る動きが進められています。日本でも、東京都荒川区（GAH Gross Arakawa Happiness）熊本県民総幸福量（AKH Aggregate Kumamoto Happiness）

などが取り組んでいます。

宮崎産業経営大学 出山実先生

この度、ご縁があって牧之原のしあわせ指標づくりに参加させていただきました。ワークショップに参加していただいた皆さん、アンケートに協力いただいた皆さん、ありがとうございました。今年度は、「みんなで指標を作り、測定してみる」ができました。しあわせ指標づくりでは、ここからスタートで、この後「実際に行動してみる」が重要になります。今回の「牧之原版しあわせおみくじ」は、皆さんの「実際に行動してみる」を後押ししてくれるパワフルなツールになります。ぜひ、日々の生活や学校の生活、対話の場のアイスブレイク等に活用してみてください。